

第 1 学年 国語科学習指導案

日 時 平成 24 年〇月〇日 (〇) 〇校時

対 象 第 1 学年 〇組 〇〇名

学校名 〇〇立〇〇小学校

授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 じどう車ずかんを つくろう

教材名 「じどう車くらべ」 (光村図書 1 年)

2 単元の目標

- ・知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。
- ・事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、句読点を使ってつながりのある文を書いている。

3 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力	ウ 書く能力	エ 言語についての知識・理解・技能
単元 の 評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しんで読書したりしようとしている。 ○経験したことなどについて順序を整理し、簡単な構成を考えながら文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事柄の順序を考えながら内容の大体を読み取っている。 ○楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表記や助詞の使い方を理解し、文の中で使っている。
学習活動に即した 具体 の 評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。 ○自分の選んだ自動車について、友達に伝えようという思いをもちながら書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何と何(「しごと」と「つくり」)が書かれていることを理解している。 ○調べるために本を選び、文章の中から必要な部分を書き抜いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書のモデル文にならい、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長音、拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使っている。

4 指導観

(1) 単元観

【小学校学習指導要領 国語〔第1学年及び第2学年〕】

目標

B 書くこと

・経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。

イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

C 読むこと

・書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。

カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

本単元は、教材文を読み、その後に自動車の説明文を書くことによって、「読むこと」と「書くこと」の能力を身に付けさせることをねらい、設定した。

これまでにも、説明的な文章を読み、読み取ったことを事柄ごとに整理したり、教材文をまねしながら自分で選んだ題材について文章にまとめたりしてきた。本単元では、前単元までに身に付けた力をより定着させていくことを目的としている。単元名を「じどう車ずかんをつくろう」と設定し、「読むこと」では、教材文の中にある自動車の「しごと」と「つくり」を事柄ごとに整理し文章の構成を捉えることができるようにさせていく。そして、「書くこと」では、自分が紹介したい自動車について、選んだ図鑑の絵や文章から「しごと」と「つくり」を読み取り、教材文を参考に事柄ごとに整理し、「しごと」と「つくり」を関連付けてつながりのある文を書けるようにさせていく。題材に児童にとって身近な自動車という乗り物を取り上げたことで、興味・関心を高めながら進んで書くことの楽しさや図鑑として完成した時の達成感を味わわせていきたい。

(2) 教材観

「じどう車くらべ」は、自動車を取り上げた説明文である。この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つである。

児童が入学して初めて学習した説明文は、「くちばし」であった。説明されている事柄を正確に読み取ることが学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い→答え」と、その文型を学んだ。

本教材では、前単元までの学習を踏まえ、「話題・問題提起→問題に対する説明」を読み取り、自動車の「しごと」と「つくり」という二つ事柄の因果関係を述べる形をとっている。また、「しごと」と「つくり」を関連付けるために、「そのために」という接続詞が使われている。さらに挿絵も詳しく丁寧に描かれ、理解を深めることを補っている。教材の後半では、「はしご車」の挿絵があり、前半の読みで学習した構成で書くことにつながるようになっている。そして、他の自動車についても調べてみるように投げかけがされている。「はしご車」という共通の素材で資料を読み取り、読み取ったことを書くという練習をさせる。この教材の学習を通して、楽しい説明文の読みを体得すると同時に、確かな言語能力を身に付けさせたい。そして、3学期に学習する「どうぶつの 赤ちゃん」へと生かしていく。

5 単元の指導計画・評価計画（全12時間 読む6 書く6）

次	時	学習活動	◇指導事項・指導上の留意点 ◆評価規準（評価方法）
一次 つかむ	1	①学習することの順序や方法を理解し、学習の見通しをもつ。 ②本文を読む。 ③新出漢字の練習をする。	◇学習内容・方法の大体を理解し、意欲をもつこと。 （関・意・態） ◆自動車にはいろいろな種類があることに興味をもち、どのような図鑑を作るかを考えようとしている。 ◇新出漢字を正しく書くこと。
	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	④問題提起を読み取り、学習シートに視写する。 ⑤バス・乗用車を読み、学習シートに書く。 ⑥トラックを読み、学習シートに書く。 場面ごとの学習活動の手順 1 ①学習のめあてを確認する。 ②音読をする。 ③本文から「しごと」について読み取り視写する。 ④本文から「つくり」について読み取り視写する。 ⑤音読をする。 ⑥学習のまとめ、振り返りをする。 ⑦クレーン車を読み、学習シートに書く。 ⑧「はしご車」の資料を基に「しごと」と「つくり」を読み取り、学習シートに書く。 場面ごとの学習活動の手順 2 ①学習のめあてを確認する。 ②音読をする。 ③「しごと」について話し合い、視写する。 ④「つくり」について話し合い、視写する。 ⑤音読をする。 ⑥学習のまとめ、振り返りをする。	◇問題提起について読み取ること。 ・問題「どんなしごと」と「どんなつくり」を視写させる。 ・写真や模型を見せ、「しごと」と「つくり」という言葉のイメージを広げさせる。 ◆話題・問題提起の内容の大体を読んでいる ◇それぞれの車の「しごと」と「つくり」について読み取ること。 ・「つくり」が、どのように「しごと」と関わっているかを、共通理解してから書かせるようにする。 ・学習形態や方法をパターン化し、見通しをもって学習を進めることができるようにする。 ・学習シートの形式を変え、徐々に難易度を上げていく。 ◆それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜いている。 〈バス・乗用車〉 しごと：「人をのせてはこぶ」 つくり：「ぎせきのところがひろい」 「大きなまどがたくさんある」 〈トラック〉 しごと：「にもつをはこぶ」 つくり：「ひろいにだい」 「タイヤがたくさんついている」 〈クレーン車〉 しごと：「おもいものをつりあげる」 つくり：「じょうぶなうでが、のびたりうごいたりする」 「しっかりしたあしがついている」 〈はしご車〉 しごと：「火じのときに、たかいところにいる人をたすける」 つくり：「ながくのびるはしごがついている」 「車たいがかたむかないようにしっかりしたあしがついている」 「たかいところの人をのせるかご（バケツ）がついている」 「たかいところがよく見えるように、そううじゅうせきがそとについている」
一次 深める			

三 次 ま と め る	7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11	⑨自分の書きたい自動車について資料を一つ選ぶ。 ⑩選んだ資料を「しごと」と「つくり」を読み取る。 ⑪自分が紹介したい車について、「しごと」と「つくり」に気を付けて下書きする。 ⑫選んだ自動車の絵を描く。 ⑬下書きを清書する。 ⑭目次やページ番号をふり、図鑑を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は教師があらかじめ用意しておく。 ◇資料を読んで、「しごと」と「しくみ」を読み取ること。 ◇教材文を参考にして簡単な説明文を書くこと。 ◆文のつながりに気を付けて読み取った構成で書いている。 ◆興味をもって資料を読み、書きたい自動車を決めている。 ◇資料を読んで、「しごと」と「しくみ」を読み取ること。 ◆選んだ資料を「しごと」と「つくり」に分けている。 ◇教材文を参考にして簡単な説明文を書くこと。 ・書く視点を確認する。 ◆文のつながりに気を付けて読み取った構成で書いている。
四 次 広 げ る	12	⑯多くの友達と読み合い、良かった友達の文章を児童が紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。 ◆友達の文章の良さに気付いている。

6 本時の学習（6／12）

（1）本時の目標

○はしご車の絵を参考に友達と話し合いながら、はしご車の「しごと」と「つくり」を考えて、文章に書いている。

（2）本時の展開

分	学 習 内 容	◇指導事項 ・指導上の留意点 ◆評価規準
5	1 本時のめあてと学習内容を確認する。 2 教科書を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発問や板書計画を立てておく。 ・前時の学習を想起させ、本時の学習を確認させる。
<p>はしご車の「しごと」と「つくり」をかながえて、 はしご車のページをかんせいさせよう</p>		
8	3 はしご車の絵を見ながら、「どんなしごとをしていますか」に対する答えを話し合う。	◇はしご車の挿絵から「しごと」について考えること。
15	4 はしご車の絵を見ながら、「どんなつくりになっていますか」に対する答えをグループで話し合い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇挿絵を参考に、「つくり」について考えること。 ・「しごと」に関連した「つくり」を探すようにさせる。 ◇自分の考えをもとに友達と話し合い、「つくり」について考えること。 ・3、4人グループで話し合う。 ・はしご車の絵を拡大した物をグループに配り、話し合うときの参考にさせる。 ・「しごと」に関連した「つくり」を探すようにさせる。

10	5	はしご車の「しごと」を学習シートにまとめる。	<p>◆はしご車の「つくり」について、「しごと」と関連させながら考えている。(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数の「つくり」が出た場合は、「しごと」と「つくり」が関連しているかどうかを確認させる。 ・一文は全体で考え、もう一文はそれぞれ考えたものを書かせるようにする。 ・「そのために」や「～ように」などの語句を活用するようにする。 ・早くまとめることができた児童は、「しごと」に関連する「つくり」について挿絵に書き込ませたり、さらにまとめさせたりする。 <p>◆はしご車の説明を「しごと」と「つくり」に分けて書いている。(学習シート)</p>
	2	6	完成したはしご車のページを音読する。
5	7	はしご車について感想を書く。	<p>◇次時への学習の意欲をもつこと。</p> <p>◆学習したこと感想を書いている。(学習シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車について初めて知ったこと、驚いたこと、分かったことを感想に書かせる。 ・学習計画表に振り返りを書かせる。
	8	本時のふりかえりをする。	

(3) 発問計画

分	学 習 内 容	★主な発問、指示 ・支援、留意点	
5	1 本時のめあてと学習内容を確認する。 2 教科書を音読する。	<p>★今日の学習内容とめあては何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からでない場合は、示す。 <p>★教科書 27 ページを音読して、学習することを確認しましょう。</p>	
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>はしご車の「しごと」と「つくり」をかんがえて、 はしご車のページをかんせいさせよう</p> </div>			
8	3	はしご車の絵を見ながら、「どんなしごとをしていますか」に対する答えを話し合う。	<p>★絵をよく見ましょう。はしご車は、火じのときにどんな仕事をするのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車は、火じのときに、たかいところにいる人をたすけるしごとをしています。
5	4	はしご車の絵を見ながら、「どんなつくりになっていますか」に対する答えを考え、気付いたことを学習シートに書き込む。	<p>★では、次にはしご車の「つくり」について気付いたことを絵の中に書き込みましょう。</p> <p>★「つくり」を探すときに気を付けることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」に関連する「つくり」をさがすことをおさえる。
20	5	書き込んだことをもとに、グループで話し合い、発表する。	<p>★今度は、グループで話し合いましょう。高いところにいる人を助けるために大切だと思う順番も考えることができるといいですね。</p> <p>★話し合ったことを発表してください。</p>

5 2	6 はしご車の「しごと」を学習シートにまとめる。 7 完成したはしご車のページを音読する。	<p>★はしご車の「つくり」についてまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」「～ように」などの語句を活用するようにする。 ・「しごと」に関連したもので、多い意見をまとめる。 ・早く書き終わった児童には、絵に「つくり」を書き込ませたり、文章にまとめさせたりする。 <p>★完成した文章を音読しましょう。</p>
5	8 はしご車について感想を書く。 9 本時のふりかえりをする。	<p>★今日の学習の振り返り、はしご車について初めて知ったことや驚いたこと、分かったことを書きましょう。</p> <p>★よく頑張りました。次回からは、自分で自動車を選び、図鑑を作っていきます。</p>

(4) 板書計画

11/27
じどう車くらべ

しごと

そのために

つくり

そのために、ビルの上までとどく、ながいはしごがついています。車たいがかたむかないように、じょうぶなあしもついています。

・火じのときにはたらく。
・人をたすける。
・高いところの人。

はしご車は、火じのときに、たかいところにいる人をたすけるしごとをしています。

◎はしご車の「しごと」と「つくり」をかんがえて、はしご車のページをかんせいさせよう。

つくりを書き込む

はしご車の絵